

参加者：附属小学校：校長、教頭、指導教諭、研究主任、総合担当、生活科担当

附属中学校：校長、教頭、研究主任、主幹教諭、総合担当

アドバイザー：大分県佐伯教育事務所 後藤竜太指導主事

本推進委員会は、大分県教育委員会との連携のもと、「附属小・中学校の9年間を見通して育てる」という視点から「総合的な学習の時間」の充実を推進するために設置しています。



R4年度の取組として、以下の点を確認しました。

- ① 小3～中3までの実践事例を蓄積
- ② 附属小中での互見授業と授業公開を実施
- ③ 「附属小・中育成を目指す資質・能力」一覧表に基づき、具体的な評価規準を作成し、探究的な学習の実践を行うこと

後藤竜太指導主事から、以下の通り助言をいただきました。

小中学校が連携して総合を核とした取組を推進している意義や意図を全教職員で「めざすところ」をすり合わせること。

低学年では「好き」→中学年～高学年では「社会参画の経験」→中学校から高校にかけては、「社会を創る」。「持続可能な社会の実践力等(社会参画)を養うなど、学びの連続性について意識すること。

「期待する姿」を単元の評価規準に落とし込み、ねらいにせまる具体的な子どもの姿をとらえること。など

